



わんちゃんとの夏の過ごし方



今年も暑い季節がやって来ました。

家族であるわんちゃんと一緒に夏を楽しみたい！

しかし、おでかけすることも多い夏は危険がいっぱいです。

今回はそんな梅雨の時期から夏に多い危険の予防について紹介します♪

熱中症

〈症状〉

- ・呼吸が荒く苦しそう
- ・普段よりもよだれが大量に出ている
- ・ぐったりして元気がない、フラフラしている
- ・体が熱い



症状が現れたらすぐにご来院下さい

〈予防〉

室内：クーラーや扇風機で室温調節をする。
アルミプレートや保冷剤などのグッズを利用する。
水分補給をいつでも出来るようにする。

外出：熱い地面を歩かせないようにカートやキャリーバックを利用する
(保冷効果のあるマットを敷くと更に良いです)
水と水の容器を持ち歩く。
散歩は暑い時間を避け、早朝や夜間の涼しい時間にさせる。



車内：日光+エンジン熱であつくなるため車内に放置させないこと。
乗り込む前に事前に車内温度調節をする。
サンシェードで日除けをする。
後部座席やトランクに乗せる場合は冷房が行き届いてるか確認する。



最も気をつけなければならない時期は6月から8月で、
時間帯は午前よりも気温が上がる午後の方が注意！！
人の何倍も犬は暑さを感じているため、
散歩中だけではなく室内でも熱中症の危険があるんだワン！！！！

ノミ、ダニ

〈場所〉

公園や河川敷、山林など草むらがある所ならどこにでも潜んでいます。
夏は自然豊かな場所へのおでかけも増え、それに伴いノミ、ダニとの遭遇機会も増えます。

ノミ、ダニの寄生虫感染が多くなる時期です！



〈症状〉

皮膚炎、下痢や嘔吐、発熱、食欲不振といった病気になる可能性があります。
ノミ、ダニが人にもたらす病気もあるため一緒にでかけた場所に持ち込まないという意味でも予防が必要です。



〈予防〉

当院には首に滴下するスポットタイプと牛肉風味のチュアブルタイプの予防薬があります。
予防薬の駆除効果は1ヶ月持続しますが、定期的な予防を継続的に行うことが大切です。
その為当院では通年予防をオススメしています。

散歩の時は特に注意が必要です!!!
少しでも緑が多い場所に近づく時は草むらに入らせないようにしましょう!!!



感染症の予防接種をオススメします☆

外遊びが大好き、他の犬と触れ合う機会がある、川や山に一緒に行くわんちゃんには感染症との接触機会が増えます。
子犬のワクチン接種を終えた後も、1年に1回の追加のワクチン接種が必要です。
ワクチンによる免疫は一生続くものではありません。追加接種によって免疫を高め維持することが大切です。
ワクチンは健康なわんちゃんにしか接種出来ないなので、体調の確認を含めて病院へ診察に行きましょう♪

また、宿泊施設の利用など複数の動物が集まる場所では混合ワクチンの証明書が必要になる場合が多いです。

